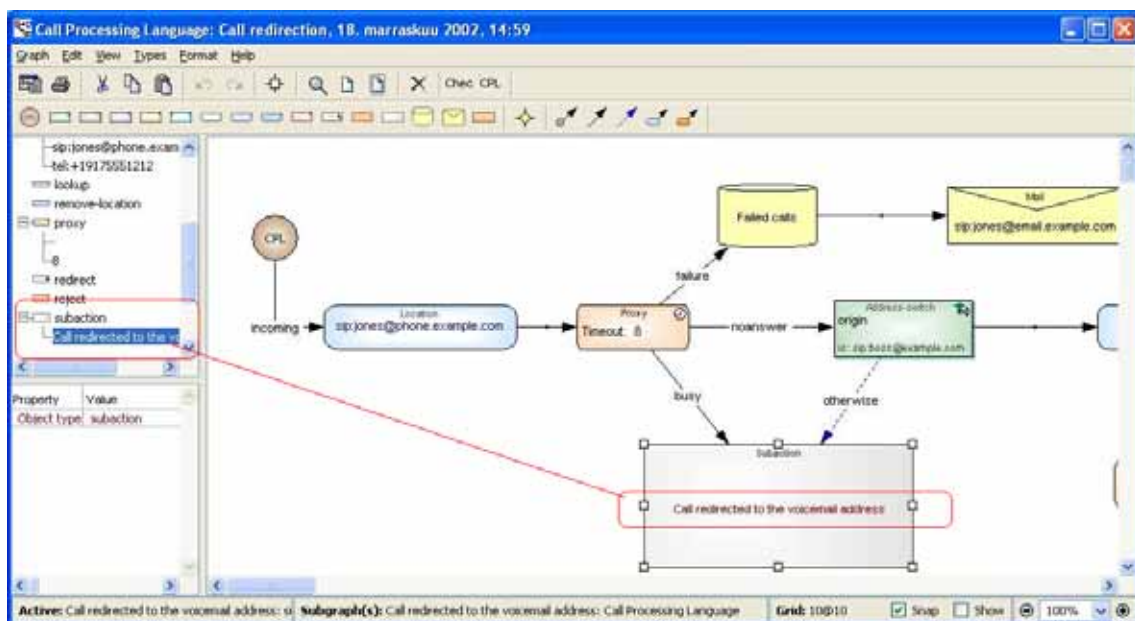
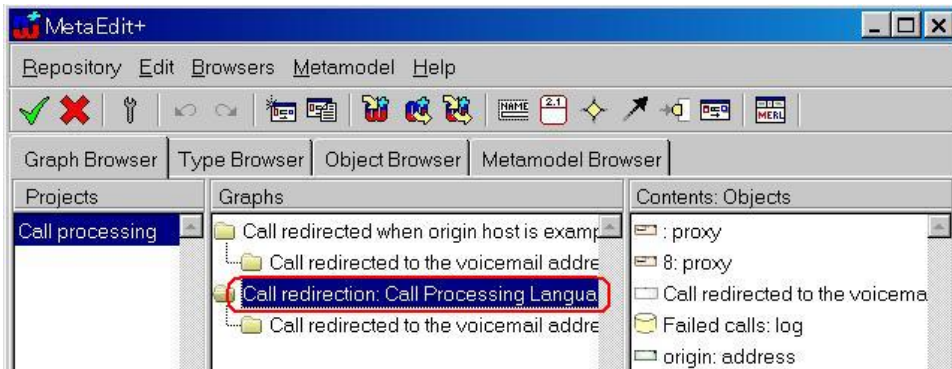


Decompose されるサブグラフの名前をオブジェクト内に表示させる方法

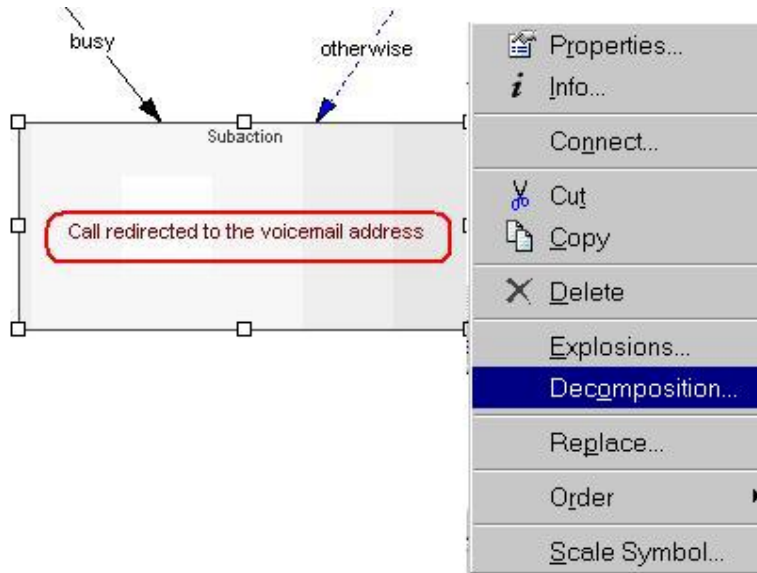
サンプル：Call processing

手順1 . Demo リポジトリ内の'Call processing'に login します。

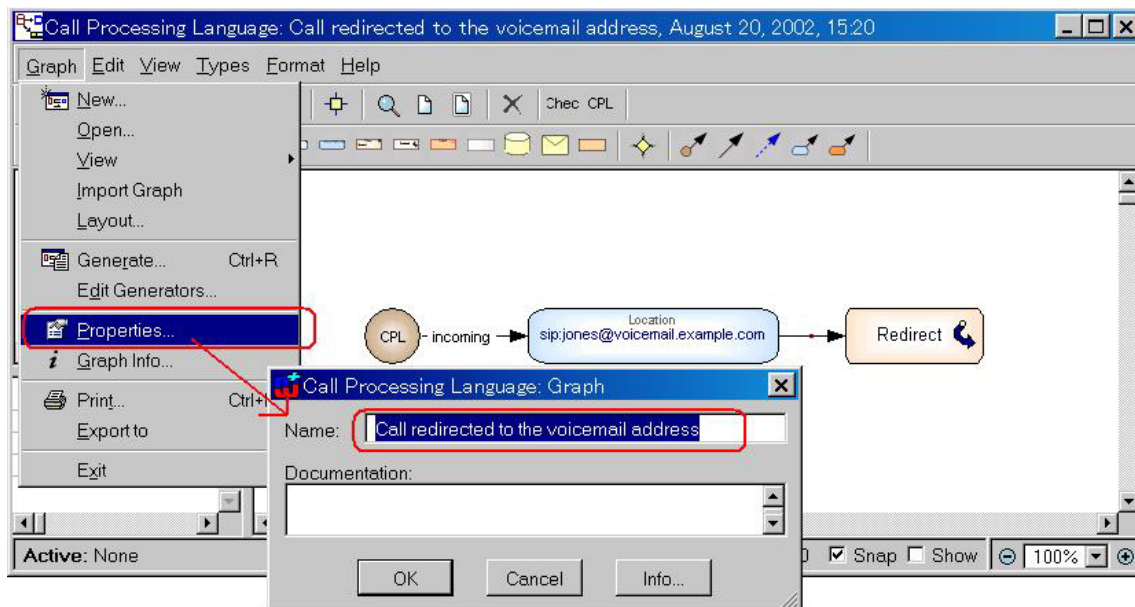


手順2 . 'Subaction' オブジェクトの元素として赤字で **Call redirected to the voicemail address** と表示されています。このテキストは decompose されるサブグラフ（下階層）の名前です。この例では、Subaction オブジェクトにはプロパティを持たせないで、MEAL レポート機能（コードジェネレータスクリプト）を介して元素への識別子を生成させています。ちなみに名前 **Call redirected to the voicemail address** は、上図のツリー表示（左側）にも現れます。

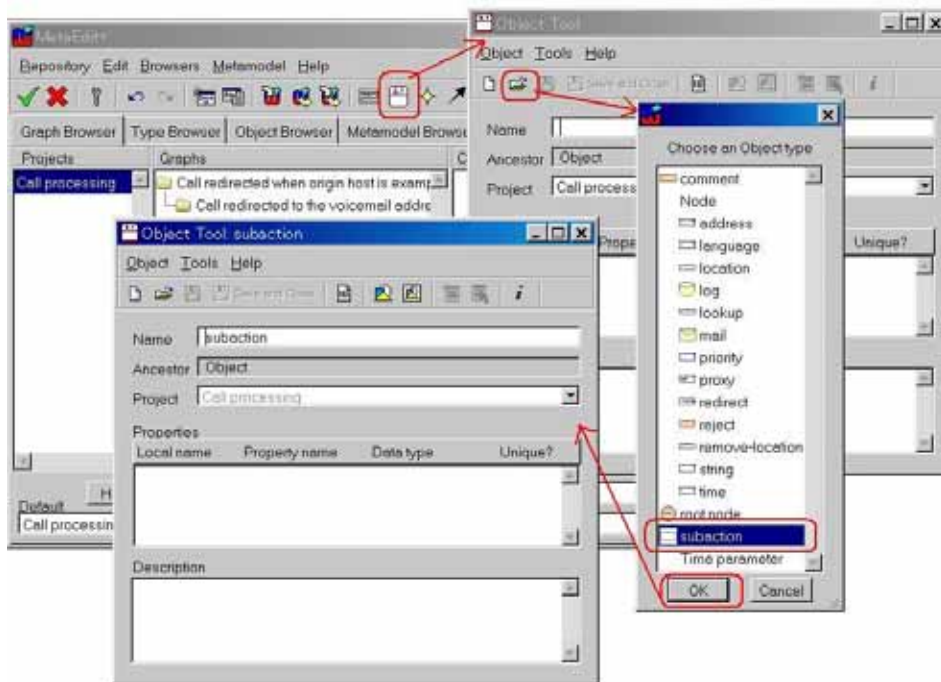
Subaction を右クリックしメニューより Decomposition を選択します。



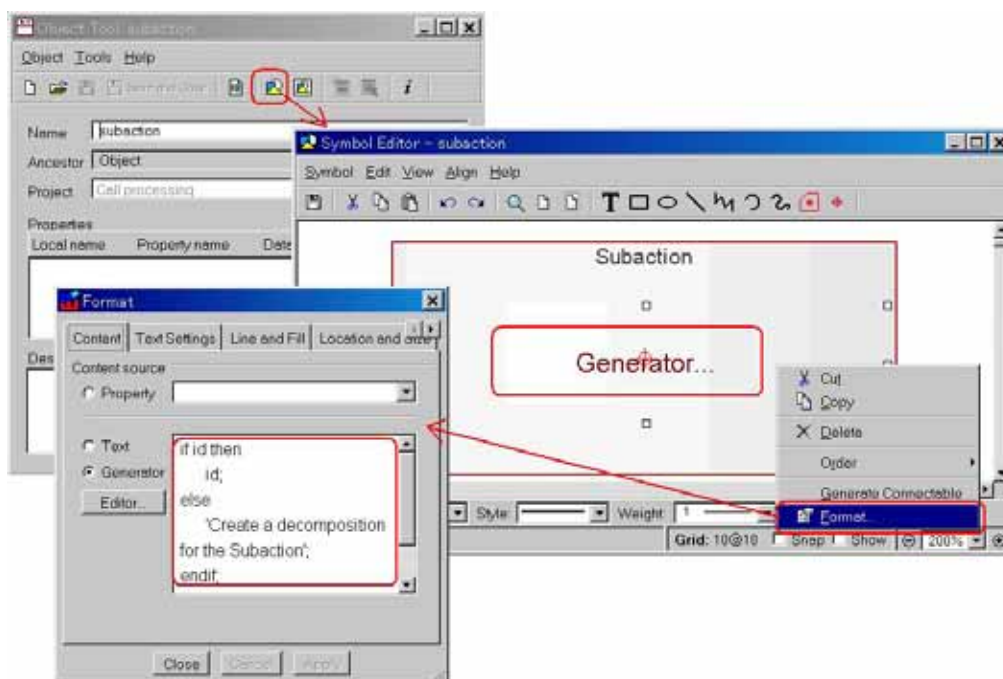
手順3 .Decompose されたサブグラフ内のメニューGraph->Property よりサブグラフの Name Property を表示させ内容 ( Call redirected to the voicemail address )を確認。



手順4 . Object tool を使ってオブジェクト Subaction を開きます。



手順5 . シンボルエディターにより Subaction に設定されている要素を選択し (Generator と書かれている要素) 右クリックにて Format メニューを表示させます。



MEAL で書かれたスクリプトを解説します。

```

if id then
    id;
else
    'Create a decomposition for the Subaction';
endif;

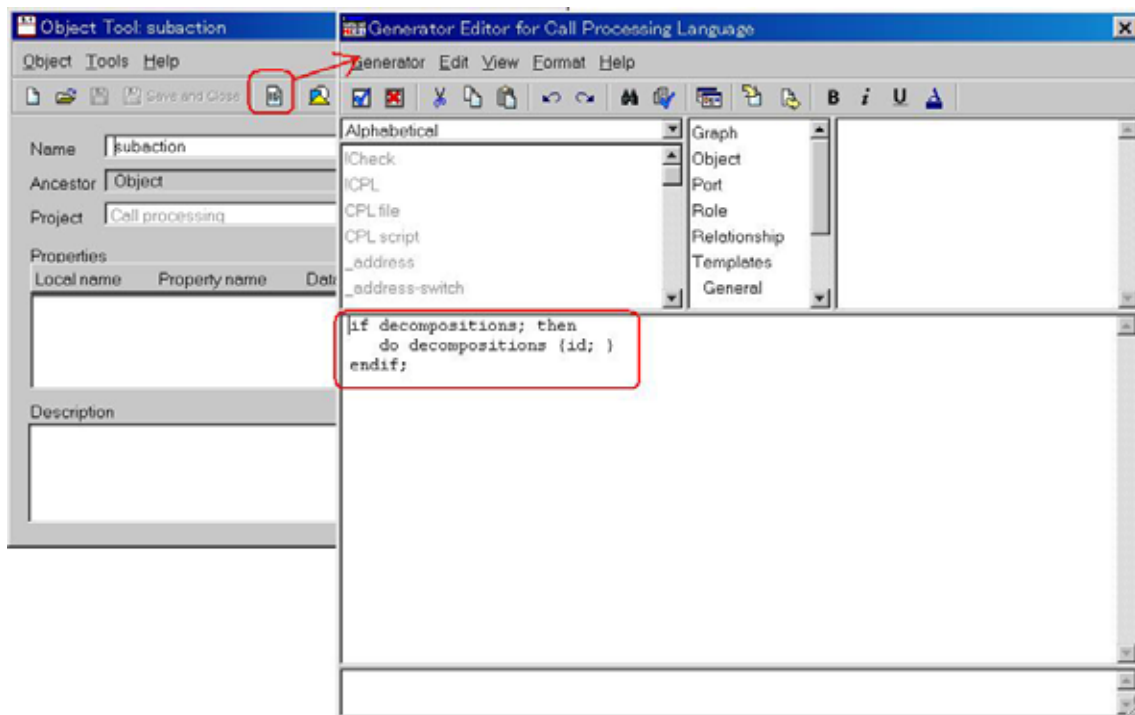
```

Generator の予約語 `id` は、オブジェクト Name Property を表します。ここでは、Decompose されるサブグラフの Name Property は手順3で確認した `Call redirected to the voicemail address` です。

If 文内で `id` が存在する場合（サブグラフの Name Property 設定がある）は `id` を表示し、なければ定型文 `'Create a decomposition for the Subaction'` を表示します。

以下では、どのようにレポート ID の生成が実装できるかを確認します。これも MEAL で記述されたジェネレータです。

手順6 . Object Tool の ID ボタンを押し Generator Editor を表示します。



MEAL で書かれたスクリプトを解説します。

```
if decompositions; then
    do decompositions {id; }
endif;
```

decompositions は、Generator Editor の General Command であり、decompose されたグラフの名前(Name Property)を出力します。ここでは、do 文により繰り返し decompose を行っていますが、このサンプルでは Decompose 可能なオブジェクトは Subaction 1 つだけになり、ループせずに 1 回処理されるだけとなります。id には、decompose されたグラフの名前(Name Property)がセットされます。